



Annual Report

年次報告書



2024
2024.4 - 2025.3



特定非営利活動法人 心魂プロジェクト

心魂プロジェクトは 次のステージへ。

難病児・障がい児・きょうだい児と
そのご家族に**選択肢のある社会**を。

どんな状況でも、『いのち』を輝かせることのできる
創造豊かな時間を私たちは生み出し続けます

選べることは**人生の豊かさ**。

CONTENTS

団体概要	P1
代表あいさつ	P2

活動紹介 (Activities)

01 届ける	P3
02 つながる	P5
03 育てる	P7
04 伝える	P8

2024年度の活動トピックス	P9
2024年度ハイライト	P13
数字で見る心魂プロジェクト2024	P21
2024年度活動リスト	P22

2024年度会計報告	P23
2025年度事業計画	P24

心に変化をもたらした活動成果	P25
11年間の歩みに思いをよせてそしてこれから	P27

支援企業の貢献と未来への展望	P29
さまざまな支援方法	P31
Cocorodama Company (メンバー紹介)	P33

団体概要

私たちの想い・使命

私たちは、公演を通して、難病や障がいのある子どもたちとご家族に、“劇場空間”そのものを感じられる特別な体験を届けています。
こうした体験が、自分で未来を描く“選択肢”につながると信じています。
心が動く体験や、自分らしさを発揮できる時間を通して、どんな状況でも“いのち”が輝ける選択肢のある社会を目指しています。

「心魂プロジェクト」という名前に込めた思い



私たちは、ワクワク・ドキドキ・感動を感じられる公演にするために、「パフォーマンスを通して心と心が繋がる。」ことを重視します。

目の前にいるあなたと「心と心で響き合う」
病気や障がいにより、思うように想いを伝えることが出来ない方に対して言葉ではなく、心で感じ合う存在でありたい

「心」...

先に天に帰り、今は残された人の心の中に生きる方の魂も私たちの活動を進める特別な存在。その方が大切にしていた愛と共に歩んでいく存在でありたい

「魂」...

法人名	特定非営利活動法人 心魂プロジェクト
設立	2014年1月
活動内容	難病や障がいのある子どもたち、きょうだい、そのご家族に向けた、舞台公演、コミュニティ事業の一環としてのオンライン配信、普及啓発活動、人材育成などを展開
受賞歴	第76回 保健文化賞 第22回 読売福祉文化賞 SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞
共同代表	寺田 真実（元・CITIZENグループ海外営業、劇団四季） 有永美奈子（元・宝塚歌劇団、劇団四季）
役員	理事 5名、監事1名
パフォーマー	プロメンバー 12名、 心魂キッズ団 18名、Youth心魂 5名、シブリング（きょうだい児）パフォーマー 4名、社会人パフォーマー 21名

代表あいさつ



ダンススペースで夢中になって踊る子。
その姿を客席から嬉しそうに見つめる子。
安全を見守りながら、ほほえむ先生。

「普段はとてもおとなしい子が、あんなふうに表現してくれるなんて…」
そう語ってくださった先生の言葉が、今も心に残っています。

これこそが、心魂の公演です。

「声を出してね」
「医療音も命の響きだね」
「あなたがやりたい形で表現してね」
「表現しないことも、あなたの大切な表現なんだよ」

舞台と客席が境界を越えて、ひとつになり、心が響き合う瞬間を創り続けています。

私たちは、まだまだ挑戦者です。
心魂の活動は、これからも進化し続けます。

次世代へのバトンをつなぐ人材育成、
ようやく立ち上がった法人の拠点施設、
企業との新しい連携や、海外での展開も始まりました。

でも、道のりはまだ続きます。

難病児・障がい児・きょうだい児とその家族には、
「当たり前体験」がまだ届いていない場面が多くあります。

だからこそ――

未来に生まれるすべての子どもたちに、
たくさんの選択肢と、心が育つ体験を届けられる社会を目指して。

私たちに「できること」
「やりたいこと」
「やらなければならないこと」は、山のようにあります。

どうか、これからも共に歩んでください。
そして、共に未来を創っていきましょう。

心からの感謝を込めて。
特定非営利活動法人 心魂プロジェクト
代表理事 寺田 美奈子（有永 美奈子）

皆さま、心魂プロジェクトをあたたく支えてくださり、心より感謝申し上げます。

医療の進歩により、かつて助けることができなかった命が救われるようになりました。
それとともに、病気や障がいをもつ子どもたち、そして「きょうだい児」も増えています。

しかし、そうした子どもたちの「生きる環境」はまだ十分とはいえず、多くの家庭が「体験の貧困」に直面しています。

子どもたちにとって本当に大切なこと――それは、“心が動く体験”です。

「やってみたい!」という意欲、思うようにいかない悔しさ、そしてそこから生まれる「もっとがんばりたい」という前向きな力。

私たちは、それらを舞台芸術を通じて届けたいと願い、2024年度も全国各地へと出向きました。

ある特別支援学校での公演では、先生のアイデアで舞台と客席のあいだに広い「ダンススペース」を設けました。

「客席が遠くなってしまうけど、大丈夫かな…」
そんな私の不安を吹き飛ばすような光景が、そこに広がっていました。

公演が始まり、1人の男の子が踊りながら前へ。
次の曲では、お友だちの手を引いてやってきて――
あっという間に、ダンススペースは子どもたちでいっぱいに！

『レリゴー』が流れると、歓声とともに全身で表現する姿が次々と生まれました。

劇場に来るのが難しいなら、私たちが行けばいい



言葉に頼らなくても心と心は通じ合う



劇団四季・宝塚歌劇団出身の俳優たちが、世界でたったひとつの“劇場空間”をお届けします。

歌や踊りを通して、心あたたまるメッセージを表現します。

大切にしている
公演スタイル

活動初期に生まれたスタイル「舞台と客席が遠いなら私たちが近づけばいい!」。声の振動を感じてもらいたい、迫力のダンスを目の前で体感してもらいたい。手のぬくもりを感じあう、想いを寄せあう。「言葉に頼らなくても心と心は通じあう」。そんな公演スタイルを大切にしています。(コロナ禍後はお客様の安心を優先して距離感を工夫しています。)

双方向な公演

私たちはパフォーマンスを通じて心と心の温度をあわせることを重視した公演を行っています。心臓の鼓動、瞬き、指先の動き。声を出したくなったら出そう、心が踊りたくなったら踊ろう。子ども達から自然と生まれる表現を大切にしています。

想い溢れる
プレイヤー

プレイヤーとは、Play (演人) × Pray (祈人) の意味を持ちます。「子ども達と共に生きたい」。その願いが明確に心の中心にあるアーティストだけで活動を進めて行くことを大切にしています。

あらゆる場所を
劇場空間に

「病室も、病院の廊下も、体育館もどこでも劇場になる」劇場に行くことが難しい子ども達がいる場所へ。国内外のあらゆる場所に劇場空間を創り出します。

映像と照明が
生み出す世界観

体験の機会を多くもつことの難しい子ども達には、見たことのない世界がたくさんあります。いつもの場所が別空間に変わる照明、一瞬で世界に誘うための映像を駆使した公演をお届けしています。

劇場空間
を届ける!

一曲目が始まり、涙が出ました。言葉にするとウソっぽく感じますが「心にひびいた」というのがぴったりだと思えます。娘の病気をきっかけに、娘を支える為にメソメソせず冷静にいななくちゃと日々思っていたから、きっと私の心を歌がほぐしてくれたのかな。どの曲も力強く、生きる力に満ちていました。

(当事者ご家族)

子ども達にプロのパフォーマンスという貴重な体験をありがとうございました! 普段、まともに会話できない子が、最後にパフォーマーの1人の方が来てくださったときに、「ありがとう」と大きな声ではっきり言うことができました! 感動しました。本当に心からの言葉だと思いました。本当に感謝です。

(当事者ご家族)

本物のパフォーマンスを見ることが初めてのお子さんが多く、歌の素晴らしさ、話しかけてくださる声に終始笑顔でした。いつもと違う子どもたちの表情や身体の動きを見ることができました。親御さんやスタッフも感動し、涙目になっている方もいました。

(支援者)



あなたはひとりじゃない
どこにいても
心は繋がっている

心に響いたメッセージ
BEST 5

あなたは100点満点!
頑張っている自分を
褒めよう

あなたは希望
あなたはたくさんの愛に
包まれている

天にかえっても
大切な人の心の中に
生きている

どう生きるか
あなたの
生き様を残そう

兄弟も
楽しめました!

息子がめちゃくちゃ
楽しそうでした!!

すごい
迫力!

こんなふうに参加できるんだ!
すごい、力をもらいました!

呼びかけに声や
表情、全身で応え
ていました!

親への気づきの
メッセージ

名前を呼ばれた時、
はずかしかったけど、
嬉しかったです。



ほっとできる“心の居場所”がここにある

コロナ禍が落ち着いた今も、外に出かけることが難しい子ども達や、長い時間を病室で過ごす子ども達があります。病気や障がいの特性により、孤立しやすくなってしまいう子ども達とご家族。私たちは、そうした方々を「ひとりにしない」ために、誰でも安心して参加できるオンラインの無料配信や、年間有料プログラム「心魂TV」を運営しています。心魂TVは、今や日本全国の方々が集い、つながり合い、励まし合う大切なコミュニティとなっています。

つながる お家にいても、病室にいても孤独にさせない



オンライン配信では、配信者にメッセージを送るだけでなく、視聴者同士が応援し合い、祈りやパワーを届け合う——。コメントを通して、心と心がつながる交流が生まれています。

「あなたはひとりじゃない」

病児ママが心魂TVプロデューサーとして活躍！ ～ご自身の経験を力に、社会人パフォーマーとしても前進～

難病児のママであり社会人パフォーマーでもあるアリーにお話を聞きました。

心魂TVプロデューサーをやろうと決めた動機は？

▶はじめにお話を頂いた時、頭によぎったことは、その任務を責任を持って自分が全うできるかどうかということでした。娘である心魂キッズ団のジャスミンは、重い心臓病と難治性の合併症があり、約1ヶ月ごとに入院が必要な体調です。現在、娘の状況は恐れてきた段階を考える時期にきており、この1年は、遠くの病院でダメージが大きい検査や危険なオペを予定しており、オペを決めた場合、家族を残し母子2人で県外の病院に転院、1～2年かかるかもしれない入院に向き合わなければならない、娘がどんな状態になっても受け入れ進む、そんな始まりの1ページを開こうとしていたタイミングでした。それ以外に、年頃の息子の送迎や通院やメンタルのこと、家や学校、両家両親のこと、出来ない理由を挙げたらいくらでもある。しかし、「やりたい！まずやってみよう！」という性格なので、すぐに決めました。動機は、自分だからこそやるべきだと思うから。娘はもう長年、頻繁な入院生活。免疫がない為、行動制限。退院して点滴を外した途端、様々な症状が襲い繰り返す嘔吐や酷い下痢で日常生活をまともに送れない時期も長く経験。近い将来、またその日はやってきます。だからこそ、外出できない悔しさや悲しみを身をもって経験し続けてきました。オンライン配信で広がる世界や可能性、心の繋がりが、いかに大事かを知っています。これから娘も私も、今よりもっと自由や時間が奪われていきますが、ギリギリまでやると決めています。ギリギリまで、誰かたった一人でも、笑顔になれるようなことがしたいです。

忙しい毎日のどんな時にアイデアが閃く？

▶娘は、入院かほぼ自宅でいつも一緒です。いつ何があっても後悔しないようにと、毎日こども達の願いを叶えたくて、退院中は毎日外出、夕飯の種類を沢山作って種類を食べるようにという私の自己満足があり、企画や制作、社会人パフ



ォーマーの練習は夜中に。余裕がないとアイデアは湧かない為、一人になれる美容院中や隙間に頭を使っています。

今までで一番やって良かったと思う企画は？

▶「サンタプロジェクト」です。私は優しくして頂くことばかりでなく、自分も恩返しできること、それを望んでいます。受けた優しさは誰かへ繋ぎたい。そう願う子やご家族も多いのではないかと考えます。自分自身がサンタとなりプレゼントする。そんな想いを持つ仲間が募った「アドベントサンタメッセージ」と「ミュージックビデオ製作」は幸せでした。

心魂TVをどんな「場」にしていきたい？

▶心魂TVは、関わっている人々の人生を変えるほど、新たな挑戦と自信を生んできました。体調を理由に寂しい想いをしていた子達も同じように楽しめ、障がいや距離を理由に諦めていた子達も挑戦できるように。才覚を表す子達も生まれました。これからもそんな「新しい挑戦を生む場所」「諦めなくていい場所」「1日の最後に笑える場所」「優しさの恩返しができる場所」にしたいです。世間は対面が復活してきましたが、それが叶わないご家族もいる。一緒に楽しめる場を創りたいです。

皆さんに一言メッセージをお願いします！

▶悔しいことや我慢しなきゃいけないことは沢山あるけれど、どんな状況になっても、できることを探して、増やして、みんなで思い切り楽しんでいきましょうね。『毎日覗きたくなる心魂TV』にしたいと思います。

成長に必要な体験ができるステージがここにはある

チャレンジ!! 緊張を乗り越え「成功体験」を手に入れる



“歌う顔”になってきたふみー、かっこいい！

北海道に住む心魂キッズ団のふみー。

8月に、初めて歌ソロ配信にチャレンジしました。

心魂プロジェクトでは、それぞれに課せられたハードルを乗り越えなければ、簡単に歌の配信はできません。それは大人も子どもも同じ。子どもだからといって甘やかすことも、同情することも一切ありません。心魂専任メンバー「潤ちゃん先生」の厳しいレッスンを受けながら、ふみーは練習を重ねました。合格した人だけが、歌による出演を許されます。

どんなに歌が上手でも、「心にある想いを歌にのせて届けること」ができなければ、不合格です。そんな中、ふみーは自分の力でチャンスを掴み、ついにその舞台に立ちました！



潤ちゃん先生

持続可能な活動にするために 心魂の未来を担う 次世代の人材を育てる。

育てる

心と心をつなぐパフォーマーを育てる

次世代のプロメンバーの育成

持続可能な活動にしていけるためには、次世代の仲間を輪に加え、ともに挑戦し、失敗を乗り越えながら育っていくことが欠かせません。乗り越えた先に見える景色——その成功体験こそが、人を育てます。心魂プロジェクトの活動には多様な能力が求められます。活動の神髄に強く共鳴し、それを突き詰めて楽しめる人材であることが大切です。ビジネス的な視点も含め、若い才能を本気で育てることは、私たちの使命のひとつです。未来に向かって道を切り拓き、つくり、道しるべとなる。そんなプロセスを一緒に歩みながら、次世代の力を育んでいきます。

心を表現するパフォーマーの育成

心魂プロジェクトでは現在、4つのカテゴリーで育成を行っています。メンバーはそれぞれ、与えられた条件に屈することなく、自らの目的と意志を持って前進してきました。その熱い想いや生き様が、各カテゴリーのブランド力を高める原動力となっています。

心魂パフォーマーの心得

- (1) 未来に生まれる病気や障がいを抱える子ども達とそのきょうだいの選択肢を生み出す
- (2) 心を開く
- (3) 与えられるのではなく、自分でつかみ取る



心魂キッズ団

20歳未満の病児・障がい児・きょうだい児・彼らと共に生きたいと願う子ども達のチーム。パフォーマンスを中心に様々な表現方法でメッセージとして歩む精鋭たち。



社会人パフォーマー

医療保育士・看護師・会社員など活動への想いが強い社会人チーム。月1回の講座では本格的なパフォーマンスのスキルを学び、作品を作りあげ、想いを熱く語りあうスペシャルチーム。



Youth心魂

18歳の壁と向き合うチーム。30歳までが対象。試行錯誤の中、自分を表現し仲間と共にチャレンジし続ける。



シブリング（きょうだい児）パフォーマー

難病児・障がい児をきょうだいに持つ「きょうだい児」と呼ばれる子ども達。複雑な環境の中に育つ彼らだからこそ生まれる表現がある！

子ども達には一人ひとりに合わせた課題（ハードル）を課し、それを乗り越えることで「自信」「自己肯定感」「成功体験」を積み重ねています。



心魂プロジェクトは、専任・兼任のプロメンバー、各カテゴリーのパフォーマー、さらにパフォーマンス以外の制作や事務を担う人材も共に育て合いながら、活動を進めています。

普及啓発活動

選べることは 人生の豊かさ。

難病児・障がい児・きょうだい児・ご家族の 選択肢が増え、「やれない」が「やれる」に 変わる社会を目指します。

私たちは、未来に生まれてくる子ども達にも選択肢が広がる社会を目指し、今できることを一つひとつ積み重ねています。病気や障がいのある子ども達やそのご家族が、自分らしく生きることをあきらめずにすむように。企業や学校との連携による歌や踊りのパフォーマンス公演や対談、キャリア教育、講演会、チャリティイベントなどを通して、子ども達とご家族の声や日常を社会に届け、「知る」きっかけをつくっています。誰かの理解が深まることで、「やれない」と思われていたことが、「やれる」未来へと変わっていく。その小さな変化の積み重ねが、誰にとってもやさしい社会につながると信じて、私たちはこれからも様々な形で想いを届けていきます。



一般企業へのデリバリーパフォーマンス



社員の方との対談



普通校公演／いのちの授業



キャリア教育公演



講演会



チャリティイベント



チャリティコンサート



難病児・障がい児・きょうだい児の国会

子ども達が自分の想いをメッセージとして表現

2023年より病気や障がいを抱える当事者の子ども達も公演に出演し、パフォーマンスやお話をしています。自身の心に渦巻く想いを伝えたい。葛藤の中で懸命に生きている命の存在を知ってほしい。彼らは素晴らしい力を秘めています。しかし、病気や障がいによりやりたくてもやれない現実を抱えています。やれないこともやれるカタチがあれば経験することが可能になります。彼らの世界はもっともっと広がります。心魂プロジェクトはできるカタチが当たり前になり、やりたいことを彼らが選択できる社会になることを目指しています。「未来に生まれてくる子ども達に選択肢のある世の中を」「子ども達の心の笑顔に出会いたい」と強く願い、祈りと共に進んでいます。

伝える

難病児・障がい児・きょうだい児・ご家族の「選べる」が当たり前になる社会をつくる

2024年度の活動トピックス

5月

●野外ステージ公演

神奈川県・箱根病院神経筋・難病医療センター様にて野外公演を実施しました。「病室からでも聞こえるように」中庭にステージを設営。たくさんのお客様が前のめりに集まってくださいました。



●Smiling Family Days

北千住マルイ様の2階店頭にて、「小児病棟わくわく応援団」の皆さまと一緒にチャリティイベントに参加しました。



●心魂ミュージックシャワー

最後の1曲をのぞいて全て生声で歌うというチャレンジングな公演を8年以上ぶりに行いました。



7月

●桜美林大学公演

大学のチャペルでパイプオルガンの生演奏も加わり「ワークショップに参加した一般公募の子ども達×心魂キッズ団×プロパフォーマー×パイプオルガン」というコラボレーションが生まれました。



●心魂サマー・フェスティバル2024

新作ミュージカル登場。コロナ前、約4年半ぶりに賑わいが戻った一般公演となりました。



8月

●Little Artists League × 心魂 オンライン・アートワークショップ

2021年より、病気と闘う子ども達を応援するため、アートキットを事前送付してのオンラインアートワークショップを実施しています。今回はJOAA（日本オーガニックアロマ協会）とのコラボ企画センサリーアートワークショップで嗅覚にアプローチしました！それぞれ香りに名前をつけたり、気に入った香りのムエット(紙)を束ねて、香りのブーケも作りました！



●おいでんぼうらいキャンプ公演（愛知県）

「難病のこども支援全国ネットワーク」主催の夏のキャンプは皆さんにとって1年に1度の特別なキャンプ。コロナ禍の影響で心魂としては6年ぶりのデリバリーパフォーマンスとなりました。たくさんの方が一緒にミュージカルの世界に参加してくださり、双方向なとても幸せな公演となりました。

●TSURUMIこどもホスピス × クリニクラウン × 心魂 （大阪府）

クリニクラウンさんとのコラボレーション。積水ハウスさんからボランティアさんがいらっしゃり会場を盛り上げてくださいました。TSURUMIこどもホスピスさんは子ども達が楽しめる工夫や愛がぎゅっと詰まった素敵な場所です。夏祭りイベントの最後に心魂はステージをお届けしました。子ども達やご家族のために！という気持ちでそれぞれの団体の良いところを掛け合わせ一つのイベントを力を合わせて行うことができ、素晴らしい時間となりました。



●『誰でもデザイナーになれる』

電通本社ビルに伺い特別なワークショップ「誰でもデザイナーになれる」を受けて参りました。オリジナルの名刺をつくろう～とデザイナーのホンディさん、そしていつも応援してくださる社員の皆さまが素晴らしい機会をご用意くださいました。



2024年5月

6

7

8

9

10

6月

●能登半島・石川県ツアー公演

ご自身が被災された方や大切な方が被災された方、1月1日より心が休むことなく過ごされている皆様に少しでも非日常の時間を過ごしてもらえたらと願い、いしかわ特別支援学校、わじまティーンラボ、国立病院機構 七尾病院、国立病院機構 医王病院にてデリバリーパフォーマンスを行いました。小学生の子ども達は、その場所が被災地だと忘れてしまいそうな位に子どもらしい姿を見せてくれました。パフォーマンスがスタートするとお母さま達の中に涙を流される方々が。心身共に疲れがピークを向かえていることが伝わって来ました。「ただいま」と必ずまた帰って来ようと誓ったツアーとなりました。



●第3回チャリティコンサート

心魂キッズ団 & 社会人パフォーマーによるチャリティコンサートを横浜で行いました。キッズ団はソロパフォーマンスを、社会人パフォーマーはプロメンバーとのコラボレーションパフォーマンスとして歌や表現で登場しました。



●香川県医療的ケア児支援センター「ソダテル」 オンライン公演（香川県）

対面活動が再開し、心魂としては久しぶりのオンライン公演を行いました。「讃岐おもちゃ美術館」という素敵な場所に集まって公演を楽しんでくださいました。最初のZoom交流から手を振ったり、お名前を呼ぶと元気に手をあげてくれたり、とても明るくお迎えいただきました。



9月

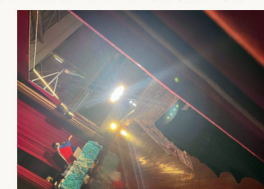
●日本財団公演

日本各地で頑張られてる様々な団体の皆様が集う交流会でのデリバリーパフォーマンスとなりました。「今を全力で生きる」そんな生き様を示す心魂キッズ団がパフォーマンスを通して《応援してるよ》《ひとりじゃないよ》というメッセージをデリバリーしました。



●愛知県立豊橋特別支援学校50周年記念公演

豊橋は心魂が正式に設立される前に初めてデリバリーパフォーマンスを行った私達にとって特別な場所です。機材は何一つ無かったあの時に、皆さんに届けるパフォーマンスの経験も何一つなかったあの時に私達を受け入れてくださり、その後ずっと繋がりを大切にしてくださる方々がいるのが愛知・豊橋です。



10月

●北海道・東北ツアー公演

20日間の北海道・東北ロングツアーを実施しました。北海道では札幌・苫小牧・浦河の皆様へ、東北では青森・仙台・秋田の皆様へ子ども達への表現ワークショップと公演を開催しました。そしてラストはNPO法人キープ・ママ・スマイリングさんのクラウドファンディングで、「選べるギフト」の1つとして選択肢の中から心魂を選んでいただき、弘前大学病院小児病棟へデリバリーパフォーマンスをしました。全国各地にいる心魂キッズ団やYouth心魂のメンバーも途中合流し、自分たちのホームでの出演を果たしました。



2024年度の活動トピックス

11月

●足立区第一中学校 キャリア教育公演

中学1年生から3年生まで1時間のキャリア教育の公演を行いました。最初と最後に歌を入れ様々なお話を届けました。私達だからこそ伝え得ることがあります。子ども達の食い入るような瞳。幸せな1日でした。



●全国重症児者デイサービス・ネットワーク「全国大会」

全国各地で頑張られてる施設様の代表者の方々や共に熱く歩む方々が沢山集われた全国大会懇親会でパフォーマンスを行いました。尽きぬ愛と覚悟を形にされてる方々へのデリバリーパフォーマンスでしたので、いつもと違うMC、そしてパフォーマンス構成でお届けしました。



1月

●有明中学校公演

芸術鑑賞会に呼んでいただき、中学生、小学生の子ども達に生演奏でのスペシャルなデリバリーパフォーマンスをお届けしました。子ども達に心魂を体験して欲しい！と熱く動いてくださった先生方のお力により開催することができました。



●イルミ*ミュージック

10周年のお祝いで心魂を呼んでくださいました。大切なお祝いの日に、たくさん表現をしてくれる子ども達と一緒にパフォーマンスを通して劇場空間を楽しんでいただくことができました。



2月

●沖縄ツアー公演

初めての沖縄県での対面公演を開催しました。初めての地で表現ワークショップと4公演合わせて、延べ200名ほどの方たちが足を運んでくださいました。沢山のこども達とご家族、応援団の方々が会場にいらっしやり、毎公演全く違う新しい心の交流が生まれ、濃厚な日々となりました。



●豊海幼稚園公演

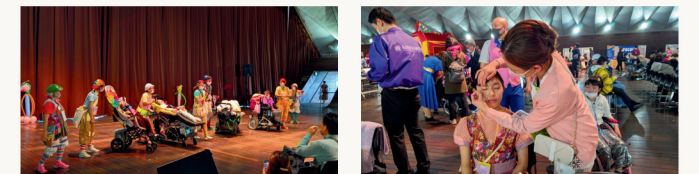
幼稚園の子ども達向けの公演をお届けしました。公演は選べる世界旅行をお届けしたのですが、子ども達がよく知っていた「さんぽ」や「ドレミの歌」は子ども達も大熱唱で、子ども達のエネルギーがビシビシ伝わってきました。最後はほとんどの子ども達が立ち上がり、踊ったり歌ったり、自由に表現してくれました。



3月

●ワクワクつながる祭典2025

1日で沢山の魅力的な団体・人と繋がる場所、「人の想いと行動で生み出す遊園地」を登場させようと2023年に生まれたこのイベント。500名以上の方がご来場くださり、素晴らしいつながりがあちらにもこちらにも生まれる景色が広がりました。皆さんの生き生きとした姿が会場に命を吹き込んでくださいました。命が喜ぶ音があちこちから聞こえました。ご支援くださった皆様、各団体の皆様、ご来場くださった皆様に感謝いたします。最高に幸せな1日となりました。



11

12

2025年1月

2

3

12月

●七尾特別支援学校公演

(能登半島・石川県×心魂 いっしょに進もうプロジェクト)

七尾の子ども達とご家族、6月に金沢でお会いした子ども達とご家族をはじめ様々な方々が集ってくださいました。ワークショップに参加してくれた子達の様々な表現に勇気や元気をいただきました。



●心魂クリスマス・フェスティバル2024

命燃やすバトンを渡して行く大切な一般公演が無事に幕をおろしました。熱い熱い、命燃やし合った2日間。共に生きてくださり、横浜にパワーを送ってくださいました皆様、本当にありがとうございました。コロナ禍では叶わなかった円陣も再び組むことができました。



●サンタのお家見学ツアー

(能登半島・石川県×心魂 いっしょに進もうプロジェクト)

雪の季節に皆さんとつながって心温まる時間を過ごせたら…と石川県の子供達に向けて社会人パフォーマーがオンラインによるクリスマスイベントを企画しました。



●オンライン・大晦日ライブ

2024年度も大晦日ライブを行いました。懐かしい曲、2024年心魂を象徴する曲、一般公演やデリバリーパフォーマンスで登場した曲などで構成する豪華オンライン大型ライブ。一年の終わりにコメントを通じてたくさんの交流が生まれました。



●築地本願寺TERAKOYA "てらかつ"

築地本願寺様にて、僧侶であり病院等で仏教者として人々の人生観・信仰を尊重しながら苦悩と悲嘆に寄り添い、臨床を専門とする「ビハーラ僧」の山本成樹さんと共に講演をして参りました。私達をご紹介くださったプロジェクトメンバーの素敵な方、他のメンバーの方々や僧侶の皆様とも様々なお話をさせていただき、とてもとても豊かな時間となりました。何より山本さんとお会いし、お話を伺って新しい視点をいただきました。響き合う方と出会うことは人生の豊かさです。



●みんなで卒業式

1年間の締めくくりとなるイベント「みんなで卒業式」。2024年度はオンラインと対面のハイブリッド公演でお届けしました。対面でご参加いただいた皆様とは、この1年を振り返りながら、それぞれの想いをお話しいただくことができました。皆さまの1年を伺いながら、共に拍手を送り合う時間はとても感慨深く、幸せでした。



●難病児・障がい児・きょうだい児の国会

心魂初の試み！当事者のキッズが自分の想いを伝える『国会』を開催しました。第1回であるテーマは「共に生き合う社会」。全国から10名の子供達が登壇しました。対面組もオンライン組も、物凄い緊張感のある中、立派に表現していました。



2024年度 ハイライト

歌や音楽で巡る「世界旅行」

様々な国を舞台とするディズニー曲などを使った
「Song & Dance」ショーやミュージカルをお届けしました

心魂プロジェクトオリジナルミュージカル『歌×ダンス×ここで世界を旅するミュージカル「世界旅行」』は、様々な国にちなんだ楽曲を通して、世界を巡りながら「人は誰でも与えられた『ギフト』宝物」がある」というメッセージを伝えていくストーリーです。

次はどこへ行く？

会場やお客様に合わせた多彩な劇場空間！

安心して楽しめる観劇スタイル



演者が地球儀を持って会場内をまわり、訪れる国を子ども達に選んでもらいます。選ばれた国によってセットリストが変わる、まさに唯一無二の公演に。「自分で選べる」よろこびを、子ども達一人ひとりが感じられるよう工夫しました。



車椅子やストレッチャーをご利用の方も、安心して観劇いただけるよう、フラットな会場での開催を心がけています。座席に限らず、マットやベッド、クッションの上、あるいは抱っこなど、それぞれの方が「いつものスタイル」でリラックスして過ごせることを大切にしています。訪問先の方々も、やさしい客席づくりを一緒に工夫してくださいました。

表現ワークショップに参加した子ども達が一般公演のステージに出演しました!!

病気や障がいの違いがあっても、それぞれの子どもに合った表現方法と一緒に見つけ、楽しみながら「わたしにもできる」と感じてもらうワークショップを実施しました。一般公演のステージ出演を目標に、「ソーラン節」の表現にもチャレンジしました。



画像：©中京テレビ
https://youtu.be/PvarJzoWwss?si=BhRZHS_NOERID8P



新作衣装登場!!「小さな子ども達が親しみやすい」をコンセプトにデザインしてもらいました。



届ける
公演事業

オンライン Delivery Performance



映像もパワーアップ!!



映像も自分たちの手で制作し、子ども達がワクワクするような世界観をつくり出しました。

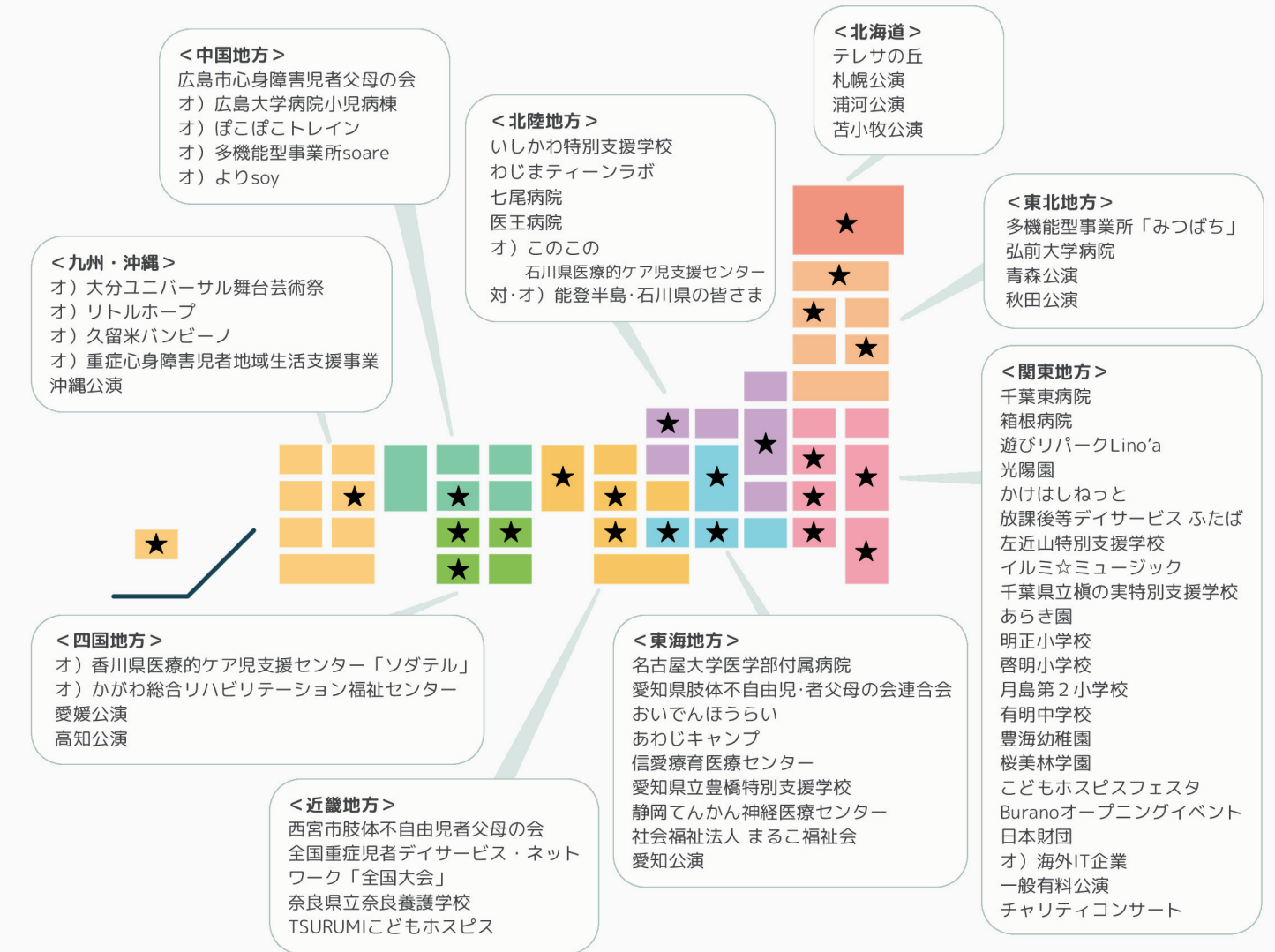


地方公演では、地元の心魂キッズ団も出演し、元気とパワーを届けました!



2024年度は

23県で全 163 回の公演をお届けし、
9,858 人の子ども達・ご家族、支援者の
方々との出会いが生まれました!



能登半島・石川県 × 心魂 いっしょに進もうプロジェクト

2024年1月に発生した地震で被災した石川県に向けて、対面で3公演、オンラインで1公演を実施しました。
「未来が見えない」「復興にはまだ時間がかかる」といったお話を伺い、私たちにできることを精一杯行いたいという想いから、このプロジェクトを立ち上げました。少しでも「いつもと違う世界」を感じていただき、心のエネルギー補給となることを願って取り組みました。また、公演に加え、心魂社会人パフォーマーによる季節ごとのオンラインイベントも企画・実施しました。



視聴者同士がリアルタイムでコメントを交わし、再会や近況報告の場となるなど、LIVE配信はにぎやかで温かいつながりの場となっています。

🔧 キッズ×プロパフォーマーによるライブパフォーマンス

それぞれの方法でコラボレーションを行い、自ら振り付けを考えて踊ったり、スイッチや視線入力を活用したり、手作りの小道具を使ったりと、子ども達は工夫を凝らしながら、自分らしい表現を楽しみました。一人ひとりが自分に合った形で参加し、プロのパフォーマーとともに、温かく豊かなステージを創り上げました。

🔧 お誕生日をみんなで祝いする時間

あらかじめ、その月にお誕生日を迎える方のお写真を募集し、動画を作成してライブ内で上映。皆で一緒にお祝いをしました。難病児・障がい児だけでなく、ご家族やきょうだい、大人のお誕生日も共に祝うことで、参加者同士のつながりが生まれ、ライブ全体が温かい雰囲気に包まれました。

🔧 メタバースで広がる、子どもたちの自由な世界

身体に不自由のある子どもでも、メタバースでは自由に動き、他者と交流できます。障がいや年齢に関係なく、アバターを通じて同じ空間で誰かがつながれるのも魅力です。今回は、メタバースを表現の場として活用している難病児・ゆりなちゃんに、対談形式でその魅力を2回にわたって紹介してもらいました。第2回では他の子どもや大人たちも体験し、その可能性を実感しました。

🔧 他団体との対談ライブで深まるつながり

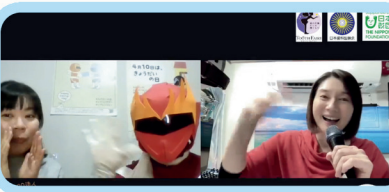
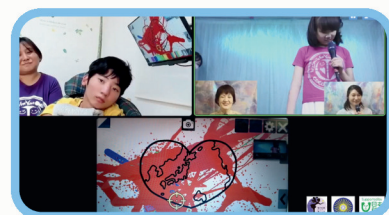
難病児・障がい児・きょうだい児を対象に活動する他の3団体と、対談形式のライブ配信を行いました。それぞれ複数回にわたり実施し、想いや取り組みについてじっくり伺うことができました。異なるアプローチながら、共通の対象に向けた活動をする団体同士の対話は、当団体にとっても大きな学びとなりました。さらに、当事者への情報提供だけでなく、団体間の横のつながりも深める機会となりました。

🔧 コラボで生まれる、アートで広がる表現の可能性

子ども達にアートを通じて表現の多様性を伝える活動を行う「LITTLE ARTISTS LEAGUE」様と、オンライン・ワークショップを2回共催し、その様子を配信しました。事前にアートキットを希望者へ送付し、1回目は嗅覚をテーマに香りに名前をつけたり、ブーケを作る体験を実施。2回目はビー玉に絵の具をつけ、箱を傾けながら描く抽象画づくりを行いました。筆が持てない子どもでも楽しめる工夫が随所に込められていました。

🔧 想いをつなぐ、オンライン&ハイブリッドコンサート

2024年度はオンラインやハイブリッド形式でボリュームたっぷりのコンサートを5回開催しました。視聴者から寄せられたエピソードや、各地の公演で上演した楽曲をもとに選曲し、社会状況や活動の流れに寄り添いながら、想いを込めたパフォーマンスを届けました。また、皆さんからのメッセージと写真で制作した動画も上映し、心あたたまるひとときを共有しました。



プロパフォーマー以外のメンバーや、つながりの深い団体の皆さんも、バラエティー豊かな配信を行って下さいました。ほぼ毎日、オンラインを通じてつながり合い、さまざまなコンテンツが届けられる場となりました。

つながる

オンライン（コミュニティ）事業

障がいのある妹をもつ高校生がプロの世界に挑む！

私たちの活動を持続可能なものにしていくために——。2024年度は、パフォーマンスはもちろん、会場セッティングや運営まで、公演当日に必要なすべてを担える人材を育てる新しい取り組みを始めました。このプログラムに、愛媛県に住む高校2年生のきょうだい児「穂乃果」が次世代リーダーの一人として参加。学業と両立しながら、北海道・愛知・愛媛・高知・沖縄と各地のツアーに同行し、プロの現場を全身で体験してくれました。そんな穂乃果に、これまでのこと、そしてこれからのことを聞いてみました。

私が心魂に出会ったのは、2022年の冬。愛媛でお世話になっている施設さんに、心魂のオンラインデリパフォを届けて下さり、そこで初めて心魂を知りました。私も妹も音楽が好きなので、楽しみにしていたのですが、想像を超える素晴らしい公演でした。その時届けてくださった言葉や歌、パフォーマンスが本当に心に響いてきました。

私はこれまで、きょうだい児として生きてきました。3歳下の妹は、メチルマロン酸血症という代謝異常の難病を抱えています。発達がゆっくりだったり、車椅子や、胃ろうという医療的ケアが必要です。妹の事は大好きですが、病気をもつ子のきょうだいとして持つ寂しい気持ちや、不安な気持ちもありました。そんな気持ちも包み込んでくれる心魂の音楽を聴き、パフォーマンスを見ると、涙が溢れました。なんで当事者ではないプロメンバーの方達も、こんなに、私たちの気持ちを理解してくださるのか、不思議でたまりませんでした。今となっては、心魂と繋がった皆さまと様々な思いを共有しながら、共に進んできたからこそ心に響くパフォーマンスが創り上げられているんだと、実感しています。

その出会いを、きっかけに、私は妹と心魂キッズ団に入り活動する事になりました。また、私はきょうだい児のチーム、シブリングパフォーマーとして合宿に参加したり、配信をしたりしました。そして、私は心魂をもっと本気でやりたい。大人になっても続けたい。と思い、プロメンバーを目指す事を決断しました。

2024年度は、愛知・愛媛・高知・兵庫・大阪・北海道・沖縄のツアーに帯同させて頂きました。私自身、愛媛県に住んでおり、心魂の対面の活動に参加することが難しかった。

2024年度育成プログラムの参加を終えて。

中山穂乃果（きょうだい児パフォーマー）



たので、育成枠として助成金に採択していただき、このような経験をさせて頂けたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。対面ツアーに参加させて頂き、心魂の活動内容をより深く感じる事が出来ました。こころん号に全ての荷物や機材を積み込み、移動し、劇場空間を作り、撤収する。これを何度も何度も繰り返す。本当に大変なことだと感じました。

ですが、それ以上に、公演に来てくださった方のお顔を見ると、本当にやって良かったと思いました。私自身、心魂に出会う前から、ミュージカルが大好きで、様々な作品を観劇したり、自分も出演させて頂いたりしていましたが、なぜ心魂が好きなのか。それは、本当の意味で心と向き合い、お客様と共に作品を創りあげられる事だと思います。一方通行ではない、その場でしか生み出せない、心魂のパフォーマンスが大好きです。何度公演に参加させて頂いても、毎回素晴らしい出会いや、瞬間に溢れていました。心魂に深く関わる度に、この活動は社会に必要なと思う気持ちは強くなっていきました。

2024年度のツアーを通して多くの事を学ばせて頂き、自分の財産になったと思います。きょうだい児の私だから伝えられるメッセージを、これからも届けていきたいと思っていますし、届けるべき人に、特別な劇場空間を届けられるように頑張ります。私自身も、心魂から既に沢山の宝物を頂いていますが、それを未来に返せる人になりたいです。今後たくさん吸収し、精進したいと思います。



難病児・障がい児・きょうだい児の国会 第1回テーマ【共に生きる社会】

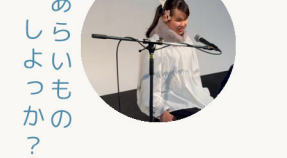
大人の意見ではなく、当事者である子ども達がどのように考えているのか——その声を社会に届けることは、私たちの重要な役割であると信じています。おそらく日本初の取り組みとなる「第1回 難病児・障がい児・きょうだい児の国会」では、「未来に生まれるあなたの後輩たちが、さまざまな人々と共に生きるために、あなたは何を大切にすべきか」という視点を重視し、10名の子ども達に登壇してもらいました。

登壇する子ども達は、健康に不安を抱えていたり、入院中であったりする場合もあります。しかし、私たちはその理由であきらめてほしくありません。そこで心魂プロジェクトでは、どのような状況にあっても登壇できるスタイルの国会を実現しました。自分の気持ちを言葉にすることが難しい子ども達には、家族や仲間と共に取り組んでいる先進的なテクノロジーを活用し、発表してもらいました。こうした挑戦もまた、「共に生きる社会」を実現するための、未来への重要な一歩だと私たちは考えています。

「働きたい。私の好きなこと。」



「あらいいもの、しよつか？」

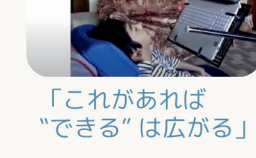


私が考える
共に生きる社会
みんなが一緒に笑っていて、
みんなが楽しいことにチャレンジする社会

「知ってほしい！きょうだいのキモチ」



視線入力 目の動きでパソコンを操作する

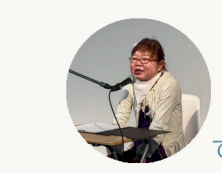


「これがあれば“できる”は広がる」

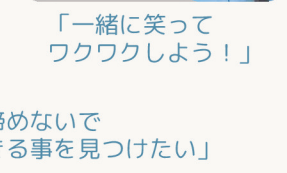
「様々な方法で叶った野球体験！」



「諦めないでできる事を見つけない」



「一緒に笑ってワクワクしよう！」



「一歩」



スイッチを使用したエイトマンの様々なチャレンジ



「笑顔と可能性を引き出すチャレンジ!!」

「探そう！作れる」





難病児・障がい児・きょうだい児の国会 Movie



子ども達の自身の声を、是非お聴きください

伝える
普及啓発事業

< 難病児・障がい児・きょうだい児の国会を経て > 登壇キッズより

●今回の国会は自分を見つめ直す時間でもありました。今自分が置かれてる立ち位置、状況も見つめ直すことでより鮮明になり、精神的に、体力的に文章を作るきつい作業でした。ただ自分が発言することで、自分が体験したことを話すことで、私の経験が、巡り巡って、誰かのヒントになればうれしいです。一日一日大切に悔いの無い人生を 一歩ずつですが、進んで行きたいです。

●自分の想いを伝えるという事、大切な事だと思います。もちろん、無理に話す必要はないです。ですが伝えたい想いがあるなら伝えたい方が、誰かの為に、また結果的には自分の為にもなると思っています。なので是非私たちの後の世代の当事者キッズも、同じように想いを伝えることを経験できる選択肢があって欲しいと強く思います。



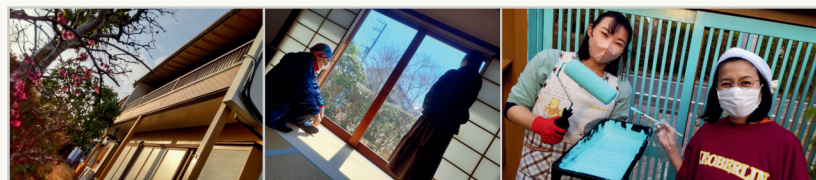
2023年度、初めて開催しご好評をいただいた「ワクワクつながる祭典」。2024年度はさらにパワーアップし、第2回目を開催しました！「まるで遊園地のようなワクワクを生み出したい！」という思いのもと、17の団体が横浜大さん橋ホールに集結。ブース展示や出張遊び場、名刺づくりワークショップ、遊びのワークショップ、直径7メートルのドームを使ったプラネタリウムプログラム、そして本格的な歌や踊りのパフォーマンスなど、多彩なプログラムで来場者の皆さまをお迎えしました。

難病児・障がい児・きょうだい、そしてそのご家族に向けた素晴らしい活動は各地で展開されていますが、多くの団体が日々の活動の継続で精一杯というのが現状です。そのため、当事者の皆さまに対する支援やサービスは、まだ十分とは言えず、各団体の強みを活かしたコラボレーションの推進が必要だと考えています。このイベントは、団体同士、団体と当事者、そして当事者同士の“つながり”が生まれる場を目指して企画・実施しました。当日はあいにくの天候でしたが、来場者数は前年を上回り、500人以上の笑顔が会場いっぱいに広がりました！



様々な研究と開発、人材の育成を進める基地 心魂研究所を設立します

私たちは、『この活動に相応しい人材』
『他団体含め響き合う人との出会い』
『プロに相応しい機材・衣装の獲得』
『機材を運ぶ車の獲得』
『配信スタジオの獲得』と、道を切り拓いて参りました。
構想からは7年以上かかりましたが、ついに、“心魂研究所”という私たちの拠点が誕生しました！



これから仲間と共に掃除や整備を進め、メンバーやシアターの引っ越し、セキュリティの強化を経て、2025年度末の本格始動を目指します。

これまでは、共同代表の寺田・有永を軸に活動を進めて参りましたが、
今後は、活動を担える人材をより多く育成することが急務となっております。
人材育成を継続的に行うことができる場所。
固定費の削減および、新たな収益事業の創出が可能な場所。

【心魂研究所】は、この活動を持続可能にし、さらに発展させていくための拠点として誕生しました。



クラウドファンディング・ご寄付・受賞による賞金のおかげで、無借金で購入できました。心より感謝申し上げます。

僕たち私たちの心魂研究所未来予想図



私がイメージする心魂研究所

▶ とても広い高原の中、誰もが自由に、表現を楽しめる場所 ▶ みなさんの笑顔の花が咲き、一緒にオンライン配信したり時にはゆっくり休んだり癒される場所 ▶ まるで異世界にきたような体験ができるようなシアターがある
▶ 心と心でお互いを支え合えるところ ・本気な人が共に進化して進んでいくところ ・平屋で廊下を歩くと一周回れる様な形で、上から見たらみんな繋がっているというイメージが湧くような感じ ・ワクワクを絶やすことのない場所 ▶ ポジティブな気持ちになれる場所で1人じゃないと感じる事ができる場所 ・歌やパフォーマンスを研究し日々高め続けられる環境 ・パフォーマンスを通じて様々な取り組みが出来る ・更にオンラインでの参加や楽しみが増えることに期待 ・なかなか会うことができない仲間とも気軽に集える温かな癒しの時間を過ごすことができる施設 ▶ 研究所に色々な経験を持ちよってある課題について対話できるようなプラットフォームになったらよいな

届けた想いが、カタチに。



栄誉ある賞をいただきました。

大切にしてきた“想いを届ける”という姿勢が、2つの賞というかたちで社会に評価されました。
これからも心を込めて、さらなる一步を踏み出します。

- **第76回 保健文化賞**（主催：第一生命保険株式会社）
厚生労働大臣賞・第一生命賞・朝日新聞厚生文化事業団賞・NHK厚生文化事業団賞
- **第22回 読売福祉文化賞**（主催：社会福祉法人読売光と愛の事業団 読売新聞社）



「あの団体を選んで良かった」と思っていただけのように、
チーム心魂はこれからも一丸となって前に進んでまいります。

企業からの大口ご支援をいただきました。

企業支援のなかで、2024年度は初めて100万円を超えるご寄付（300万円）をいただきました。
私たちの活動に共感し、力強く応援してくださったこのご支援は、次の挑戦への大きな後押しとなっています。温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

2024年度メディア掲載

（上期）

- | | |
|-----------------|---|
| 4月4日 愛媛「あいテレビ」 | 難病の妹と生きる姉 自分が輝ける場所で想いを伝える |
| 6月28日 広島ニュースTSS | ミュージカル俳優が病氣と闘う子どもたちに歌の贈り物
広島大学病院でオンライン公演 |
| 8月20日 中日新聞 | 全身で踊り、舞台上できらり 21日、名古屋で病氣の子や家族らがミュージカル |
| 8月26日 中京テレビ | 子ども輝かせる“特別な舞台” 仕掛け人は元劇団四季俳優
名古屋初のワークショップ |
| 9月20日 愛媛「あいテレビ」 | 難病の妹と生きる“きょうだい児”の少女 葛藤を乗り越え自分らしく生きる |

（下期）

- | | |
|-------------------|-------------------------------------|
| 10月17日 苫小牧民報（電子版） | 20、21日 障害児や医療的ケア児へミュージカル公演 |
| 10月22日 苫小牧民報（電子版） | 障害や難病の子らにミュージカル 心魂プロジェクト 苫小牧 |
| 11月13日 北日本新聞社 | 能登半島・石川県 × 心魂（こころだま） いっしょに進もうプロジェクト |
| 12月8日 読売新聞 | 読売福祉文化賞 |
| 12月19日 朝日新聞デジタル | 保健文化賞 |
| 3月10日 朝日新聞デジタル | 障害や難病の子ら舞台上でパフォーマンス 全国の支援団体つながる祭典 |

数字で見る心魂プロジェクト2024

数字と共に1年を振り返ってみました。

2024年度活動リスト

実施した主な活動を日付順にまとめました（移動日は含みません）。

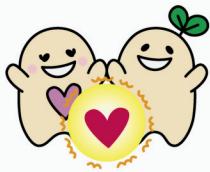
活動した日数 （移動日含む）	参加人数	再生回数 （オンライン）	受賞金総額
355 日間	11,102 人	311,057 回	6,000,000 円

配信日数 （オンライン）	上映時間 （オンライン配信のみ）	配信数 （オンライン）	公演した回数
330 日間	19,187 時間	542 回	対面 103 回 オンライン 59 回 ハイブリッド 1 回

公演した地域	1万人プロジェクト参加人数	講座・ワークショップ数	1番組あたりの 最多再生数 （オンライン）
対面 20 県 オンライン 5 県	776 人	48 回	3,812 回

SNSフォロワー数 （公式Facebook）	SNS投稿数 （Facebook）	番組数 （オンライン）	クラウドファン ディング応援者数
4,938 人	公式 730 回 心魂TV 487 回	238 番組	214 人

2024年度もたくさんの心をつなぎました



4月21日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
4月23日	加藤×寺田デュエットライブ	オンライン
4月23日	有永×岩本デュエットライブ	オンライン
4月24日	有永×寺田デュエットライブ	オンライン
4月24日	加藤×岩本デュエットライブ	オンライン
4月25日	春の有永・岩本・加藤・寺田ライブ	オンライン
4月28日	こどもホスピスフェスタ2024	神奈川県
4月29日	定期ワークショップ	神奈川県/オンライン
4月29日	Buranoオープンイベント	栃木県
5月3日	加藤×岩本デュエットライブ	オンライン
5月3日	有永×寺田デュエットライブ	オンライン
5月4日	加藤×寺田デュエットライブ	オンライン
5月4日	有永×岩本デュエットライブ	オンライン
5月5日	加藤×有永デュエットライブ	オンライン
5月5日	岩本×寺田デュエットライブ	オンライン
5月6日	5月大型配信ライブ	オンライン
5月11日	心魂ミュージックシャワー	神奈川県
5月12日	Smiling Family Days 2024	東京都
5月15日	千葉東病院	千葉県
5月18日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
5月22日	箱根病院	神奈川県
5月25日	遊びリパークLino'a（リノア）	神奈川県
5月26日	定期ワークショップ	神奈川県/オンライン
5月29日	光陽園	千葉県
6月1日	いしかわ特別支援学校	石川県
6月2日	わじまティンラボ	石川県
6月4日	七尾病院	石川県
6月5日	医王病院	石川県
6月8日	有永×寺田デュエットライブ	オンライン
6月13日	名古屋大学医学部附属病院	愛知県
6月15日	愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会	愛知県
6月16日	小児病棟ワクワク応援団サミット	神奈川県
6月22日	香川県医療的ケア児支援センター「ソダデル」	香川県/オンライン
6月22日	加藤×寺田デュエットライブ	オンライン
6月23日	定期ワークショップ	神奈川県/オンライン
6月27日	広島大学病院小児病棟	広島県/オンライン
6月27日	帰ってきた岩寺姉弟	オンライン
6月29日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
6月30日	チャリティコンサートpart3	神奈川県
7月6日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
7月7日	ぼこぼこトレイン	広島県/オンライン
7月7日	加藤×寺田デュエットライブ	オンライン
7月13日	サマーフェスティバル2024・1日目	神奈川県
7月14日	サマーフェスティバル2024・2日目	神奈川県
7月16日	大野さんへ愛をこめて・・	YouTube
7月23日	光陽園	千葉県
7月27日	かけはしねっと	茨城県
7月27日	桜美林学園ワークショップ	東京都
7月27日	桜美林学園デリバフォ	東京都
8月1日	広告小学校	東京都
8月3日	大分ユニバーサル舞台芸術祭	大分県/オンライン
8月3日	加藤×寺田×キッズ団	オンライン
8月4日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
8月11日	全国ツアー始まるぞ！ライブ	オンライン
8月12日	アートワークショップ	オンライン
8月17日	おいでんほうらい	愛知県
8月19日	愛知ワークショップ	愛知県
8月20日	愛知公演1日目	愛知県
8月21日	愛知公演2日目	愛知県
8月23日	あわじキャンプ	兵庫県
8月25日	TSURUMIこどもホスピス	大阪府
8月27日	ラブ&ビーチLIVE	心魂TV
8月31日	石川向け 夏休みイベント	YouTube
9月1日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
9月3日	有永×寺田デュエット	オンライン
9月9日	信愛療育医療センター	愛知県
9月10日	愛知県立豊橋特別支援学校	愛知県
9月14日	愛媛ワークショップ	愛媛県
9月15日	愛媛公演1日目	愛媛県
9月16日	愛媛公演2日目	愛媛県
9月20日	高知公演1日目	高知県
9月21日	高知公演2日目	高知県
9月21日	高知ワークショップ	高知県
9月22日	高知公演3日目	高知県
9月27日	明正小学校	東京都
9月27日	日本財団	東京都
10月3日	加藤×寺田デュエット	オンライン
10月5日	石川向け ハロウィンイベント	YouTube
10月6日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
10月9日	苫小牧ワークショップ	北海道
10月12日	札幌ワークショップ	北海道

10月13日	札幌公演1日目	北海道
10月14日	札幌公演2日目	北海道
10月17日	浦河公演	北海道
10月20日	苫小牧公演（一般公演）	北海道
10月21日	苫小牧公演（テレサの丘）	北海道
10月23日	青森公演	青森県
10月25日	秋田公演	秋田県
10月27日	多機能型事業所「みつばち」	宮城県
10月29日	弘前大学病院	青森県
11月2日	西宮市肢体不自由児者父母の会	兵庫県
11月3日	全国重症児者デイスサービス・ネットワーク 全国大会	大阪府
11月5日	奈良県立奈良養護学校	奈良県
11月6日	メナード講演会	愛知県
11月15日	青山学院大学 講義	東京都
11月15日	加藤×寺田デュエット	オンライン
11月16日	放課後等デイスサービス ふたば	千葉県
11月20日	千葉東病院	千葉県
11月20日	メナード化粧品全国大会	神奈川県
11月22日	左近山特別支援学校	神奈川県
11月23日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
11月25日	足立区立第一中学校（キャリア教育）	東京都
11月27日	静岡でんかん神経医療センター	静岡県
11月29日	海外IT企業	Webex
12月1日	七尾クリスマスコンサート	石川県
12月1日	七尾ワークショップ	石川県
12月3日	まるこ福祉会	長野県
12月7日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
12月8日	多機能型事業所Soare（ソアレ）	広島県/オンライン
12月8日	加藤×寺田デュエットライブ	オンライン
12月14日	クリスマスフェスティバル2024・1日目	神奈川県
12月15日	クリスマスフェスティバル2024・2日目	神奈川県
12月19日	月島第二小学校 WS	東京都
12月20日	月島第二小学校 公演	東京都
12月21日	リトルホープ	大分県/オンライン
12月22日	石川向け クリスマスイベント	YouTube
12月24日	このこの石川県医療的ケア児支援センター	石川県/オンライン
12月25日	箱根病院	YouTube
12月26日	よりsoy	広島県
12月28日	しふたね×心魂 対談ライブ	オンライン
12月29日	しふたね×心魂 対談ライブ	オンライン
12月31日	心魂大晦日ライブ	オンライン
1月4日	メタバース？！教えてゆりニャー	オンライン
1月4日	しふたね×有永美奈子（心魂）	オンライン
1月5日	一緒に星をみあげましょう	YouTube
1月5日	メタバースで遊ぼうよ！	オンライン
1月5日	しふたね×有永美奈子（心魂）	オンライン
1月7日	加藤×寺田デュエットライブ	オンライン
1月9日	有明中学校	東京都
1月11日	石川向け ワークショップ	石川県/オンライン
1月12日	イルミ・ミュージック	東京都
1月13日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
2月1日	アートワークショップ	オンライン
2月2日	相談支援事業所「バンビーノ」	福岡県/オンライン
2月2日	加藤×寺田×α？ライブ	オンライン
2月5日	豊海幼稚園	東京都
2月6日	横の実特別支援学校	千葉県
2月8日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
2月9日	石川向け バレンタインイベント	YouTube
2月10日	Child Play Lab×心魂	オンライン
2月11日	重症心身障害児者地域生活支援事業	福岡県/オンライン
2月11日	加藤×寺田×α？ライブ	オンライン
2月12日	Child Play Lab×心魂	オンライン
2月14日	中野区立啓明小学校	東京都
2月22日	沖縄ワークショップ	沖縄県
2月23日	沖縄公演1日目	沖縄県
2月23日	クリニックラウンとあそぼう	YouTube
2月24日	沖縄公演2日目	沖縄県
3月1日	社会人育成講座	神奈川県/オンライン
3月4日	とことこあーす×心魂 対談ライブ	オンライン
3月5日	とことこあーす×心魂 対談ライブ	オンライン
3月8日	ワクワクつながる祭典2025	神奈川県
3月9日	築地本願寺講演	東京都
3月14日	あらい園	千葉県
3月16日	石川向け ワークショップ	石川県/オンライン
3月16日	加藤×寺田×α？ライブ	オンライン
3月19日	千葉東病院	千葉県
3月26日	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	香川県/オンライン
3月26日	加藤×寺田×α？ライブ	オンライン
3月29日	雄病児・障がい児・きょうだいの国会2025	オンライン
3月30日	みんなで卒業式ライブ	オンライン

2024年度 会計報告

いただいたご支援を大切に活用しました

2025年度 事業計画

継続と進化、そして挑戦

*2024年度より、会計業務を税理士に依頼する体制となりました。

勘定科目		2023年度	2024年度
収入の部	自主事業		
	公演事業	10,340,621	14,999,700
	ワークショップ事業	604,000	219,501
	講演会事業	33,000	367,080
	作品制作・販売事業	1,541,597	1,433,266
	教育事業	1,775,000	2,582,420
	その他収益	1,571	6,180,305
	他収益		
	受取会費	68,000	65,000
	受取寄付金	5,356,487	10,536,735
	受取助成金等	15,692,515	13,450,610
	受贈益	84,882	60,431
	施設等受入評価益	168,000	77,100
	経常収益 計	35,665,673	49,972,148
支出の部	事業費		
	人件費	19,156,192	10,425,030
	旅費交通費	4,413,140	3,503,817
	印刷製本費	195,428	268,327
	広告宣伝費	0	100,000
	車両費	360,631	175,035
	通信運搬費	344,919	113,564
	消耗品費	268,808	173,976
	水道光熱費	63,430	72,144
	地代 家賃	1,795,200	2,094,400
	賃借料 / 会場費	1,768,979	2,029,461
	作品制作費	2,574,625	10,790
	その他	4,908,513	1,069,221
	事業費 計	35,849,865	20,035,765
	管理費		
	人件費	0	7,407,632
	車両費	265,320	587,344
	通信運搬費	59,701	254,449
	消耗品費	561	256,141
	地代 家賃	1,185,255	1,303,780
	減価償却費	110,000	2,525,741
	その他	3,321,857	3,992,308
	管理費 計	4,942,694	16,327,395
当期経常増減額		△ 5,126,886	13,608,988
当期正味財産増減額		△ 5,201,386	13,458,997
前期繰越正味財産額		4,810,817	△390,569
次期繰越正味財産額		△ 390,569	13,068,428

前年度より有料公演が6か所増えました。スケジュールにお応えできずにお断りせざる得ないケースも複数あったのが残念でした。

受賞に伴う賞金や原稿執筆料などの収入を得ました。

心魂研究所設立のためのクラウドファンディングや企業・個人様からのご寄付を通じたご支援をいただきました。

Amazon「ほしいもののリスト」を通じて、活動に必要な物品のご支援をいただきました。

ご厚意により無償で施設を使用させていただきました。

事務所やオンラインシアターの運営費として活用しました。

公演やイベントで会場を借りる際の費用に使用しました。

商品仕入、機材購入費、支払手数料などを含みます。

印刷製本費や旅費交通費、感染予防費、保険料などを含みます。

2025年度は、これまでの活動に加えて、以下の新たな取り組みを展開してまいります。持続可能な活動の実現に向けて、着実に歩みを進めていきます。

01 【心魂研究所】の整備

千葉に物件を購入し、2025年度末の整備完了を目指します。
「心魂研究所」は、活動拠点を一つに集約することで経費削減と業務効率化を実現する法人の中核施設です。人材育成や作品づくりが可能な稽古場の工事費用の確保を目指します。

02 【日本生命協賛ころもだま公演】開始

特別支援学校15校、施設・病院4か所での公演に加え、当事者キッズ向けオンライン公演を2回、企業の社員の方向け公演およびセミナーを各2回実施します。

03 【ワクワクつながる祭典・地方版】の実施

横浜みなとみらい・大さん橋ホールで開催している大イベント（難病児・障がい児・きょうだい児とご家族に向けた活動をされている団体、および応援してくださる企業が集まり、つながる祭典）を、初めて地方都市（秋田）で開催します。
地方版では、当事者キッズではない子ども達が医療福祉団体と出会い・知る機会を創出し、職業の選択肢となってほしいと願い開催します。

04 【千葉特別プロジェクト】の実施

神奈川・横浜から千葉県に拠点を移すため、地元に根ざした団体を目指して、2025年度は千葉県での公演活動を重点的に実施します。

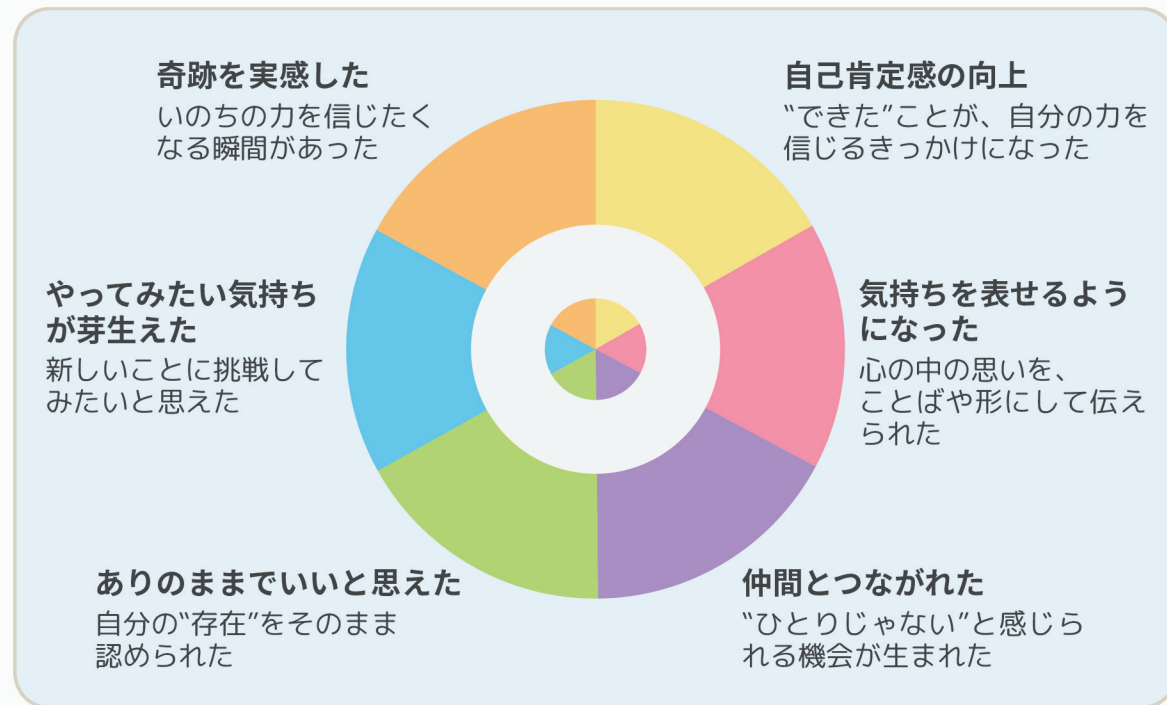
05 【海外公演】拡大への動き

アジア諸国における難病児・障がい児・きょうだいたちは、日本以上に“体験の機会”に恵まれない状況にあります。私たちの活動を日本から海外（アジア）へと広げていくことを目指し、その準備を進めています。

心に変化をもたらした活動成果

心の変化が重なって、確かな前進へ。

自己肯定感や孤独感の解消など、見えにくいけれど
確かな成果を実感しています。



心魂との出会いがくれた、「私らしい生き方」

心魂との出会いがくれた変化を、素直な気持ちで綴りました。

心魂プロジェクトと出会って一番の変化は、生き方が変わり、自分らしさを取り戻せたと感じています。娘には重度の知的障害があり、見た目は元気そうでも、心臓病といくつかの合併症を抱えています。娘が生まれるまでは、私は仕事と趣味のマリンスポーツに明け暮れるような毎日を送っていました。「やりたいことは何でもやる!」「欲しいものは絶対に手に入れる!」。母には「少しは石橋を叩いて渡りなさい」と言われるほどの、“即行動”タイプでした。



そんな私の生活も、娘の誕生で一変しました。感染予防や医療的ケアのため、家にこもる日々が続きました。やがて家庭もうましくいなくなり、私はシングルマザーに。娘と二人きりの毎日。ふと気づくと、「最近笑ってない」「人とどう話すんだっけ?」と思う自分がいて、以前の自分を思い出せなくなっていました。今は外出制限や医療的ケアはありませんが、意思疎通が難しい娘から目が離せず、私の生活の制限は続いています。

心魂と出会うまで、私は「辛い」と言えませんでした。娘のためなら当然で、そう感じる自分にさえ罪悪感が

ありました。心魂は公演や配信を通して、様々なメッセージを心に届けてくれます。

その中のひとつ、「お母さんが元気であれば子どもは大丈夫」「お母さんにも自分の人生がある」という言葉を聞いたとき、私はハッとしました。「私の心は、全然元気じゃない」——そう気づいたのです。そして、元気であるには、自分自身を大切にすることが何より大切だと実感するようになりました。即行動タイプの私にとって、制限のある生活は元気を失う大きな要因でした。やりたいことができない毎日は、あきらめの連続。やりたいことは山ほどあるのに、ずっともがき続けてきました。もちろん今ももがいています。でも、心魂は「できないまま」で終わらせず、「どうすればできるか」を一緒に探し続けてくれます。まわりと同じじゃなくていい。自分らしいスタイルでやればいいと気づかせてくれました。今も、娘への罪悪感が全くないとは言えません。けれど、利用できる福祉サービスを少しずつ増やし、制限のある生活の中でも今の自分にできることを最大限に見出し、取り組むエネルギーが戻ってきました。娘が生まれて、自分の過去をすべて否定してしまうような時期もありましたが、今は私らしく生き始めています。

娘が私のもとに生まれてきてくれたこと、心魂との出会い、そして素敵な仲間たち——すべてに、心から感謝しています。

田倉 千菜美



Iさん / 看護師

僕は自分を“表現をする”ことが嫌いでした。心魂に出会い、今まで自分が怖くて逃げてきた“表現をする”ことで人の心を動かす場面に直面し、憧れと自分への悔しさを感じました。このままではダメだ! 相手と心からぶつかっていかなければ、心から人のために何かをすることなんてできない! と考えることができました。ようになりました。

娘は進行性の病を患っています。段々と身体が奪われていても、何故か心魂でパフォーマンスする時は毎回驚かされるほどの身体の動きと姿勢の良さになり、意識の強さで変われるんだ! という奇跡を体感させていただいております。



Aさん / 障がい者ママ



Hさん / きょうだい児

心魂に出会って、配信などで繋がり、しんどい時はパワーを送りあったり、笑いあって、ひとりじゃないと思えるようになりました。そして全国に大切な仲間が来ました。より深く関わる度に、たくさんの方の大切なことに気づいたり、様々なことに挑戦するようになりました。



Yさん / 障がい児ママ

特集

心魂に出会ったこと

はじめて見た「あなたへの贈り物」のミュージカルは娘に伝えたいことを代弁してくれているような、娘のことを受け止めてくれたような、なんだか自分も認めてもらえたような素敵な時間でした。私はこれを娘に伝えたいんだ、あなたはありのままでもいい。今のあなたが大好きなんだよって思えた(気づけた)ことが変化かなと思います。



Mさん / 障がい児ママ



Kさん / きょうだい児

心魂と出会うまでは、「私が色々我慢すればいいんだ」「私があがまま言ったら周りが困っちゃうよね」と自分の本音を言えずに言動をとることが多々ありました。自分に嘘をつかず、ありのままで生きることの喜びや大切さを心魂で学びました!



Cさん / 障がい者ママ

世界が広がりました。それによって、「自分にもこんな事ができるんじゃないか」「まだまだやれる!」「子どもたちにも、こんなことできるんじゃないか」「長女にだって、できることまだまだあるじゃん!」という前向きになれる楽しみができました。



Sさん / 難病児

「とにかくやってみる」という精神が身に付いたことです。(身に付きつつあるというのが正しいかもしれませんが。)



Nさん / 大学勤務

息子は助けてもらったり支えてもらうことはたくさんあっても、誰かに何かできるかという何もできないなと思っていました。心魂の様々な活動に参加する中で、息子だからこそ伝えられる事があると信じて親子二人三脚で『出来ないを出来る! に変えるチャレンジ』をしていけるようになりました!



Rさん / 障がい児ママ

よし!! 私も弱音を吐いている場合ではない!! 頑張らない!! と思えるパワーになっています。

気持ちの鎧が取れたことです! それまで「～ねばならない」というものが多かったと思います。鎧が取れて初めて「自分の気持ちは固まっていたんだ!」と気づきました。



Mさん / 会社員

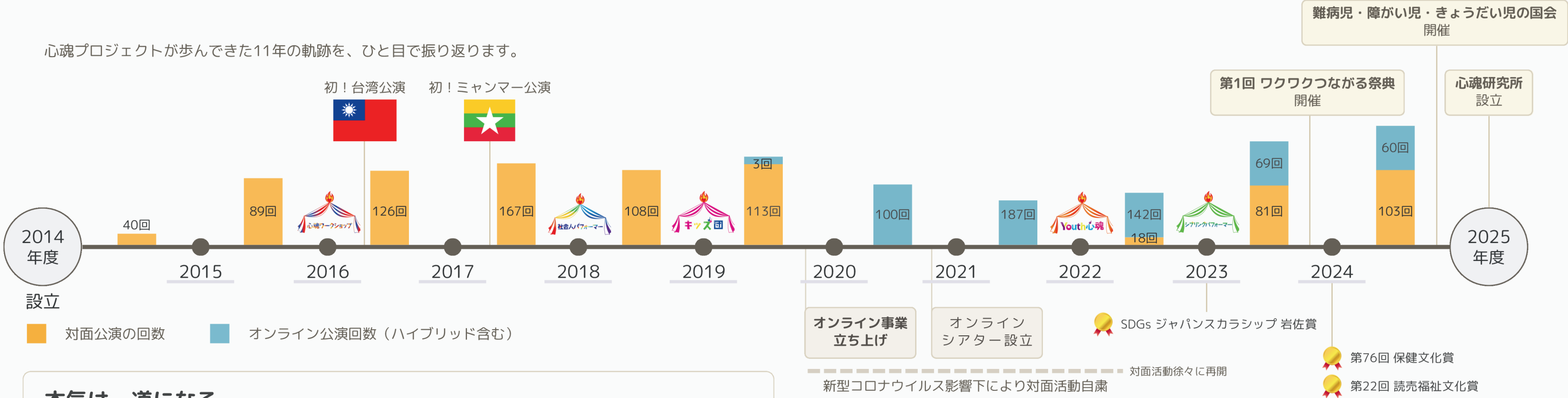


Aさん / 看護師

私は自分の居場所を見つけるのにとても苦労してきました。心魂の仲間は自分をさらけ出してもありのままのあなたでいいよと認めてくれて、まるごとハグしてくれる人達でした。他人からどう思われるかを気にして手を挙げることに、何かをすることに臆病になっていた私は、「この人達がいるから何があっても大丈夫」と安心してたくさんのことに挑戦できるようになりました。

11年間の歩みに思いをよせて そして これから

心魂プロジェクトが歩んできた11年の軌跡を、ひと目で振り返ります。



本気は、道になる。

選択肢の少ない子どもたちへ、本物の体験を届ける——11年目の出発点。

『選択肢が少ない難病児にこそプロの・本気のパフォーマンスを体験して欲しい』と2014.1.1に創立した私達の活動。最初の3年間はとにかくお金が無くて我が家の電気・ガス・水道はしょっちゅう止まり、活動に行った際のレンタカーのガソリンを満タンにするにも家にある何かを売らなくてはならないという低空飛行を続けました。

ただ、こども達が真っ直ぐパフォーマンスを受け取り、劇場では考えられないような様々な反応を素直に表現してくれる幸せが毎回私達の心を抱きしめ、

『絶対に続けて行こう』

と覚悟を新たにする日々でした。沢山の方々が『この人達は本気だから応援しよう』と立ち上がって下さり、様々な方々にご紹介下さいました。

最初の3年を終え、5年目にこころん号(車)がクラウドファンディングで与えられ、その後日本財団様の助成金に採択され機材が一気にパワーアップし、軌道に乗り始めた時にコロナが来て決まっていた1年先までの全てのスケジュールが白紙となり、また経済難となりました。

隔離すれば命が守られる可能性は大きい、しかし、人との交流がなくなって行けば心の免疫が落ち、やがて体に悪い影響が出ると感じ、ヨドバシカメラに貯めてあったポイントを使い配信に必要な機材を購入しオンライン配信の活動を初めて開始(2020.3月より)しました。プロにお願いするお金は有りませんので学ぶ所から全て自力です。

途中に日本財団様からの助成でオンラインシアターを設立し、これまでの配信活動は既に4000回を越えます。11年間、エラーしても良いからとにかくチャレンジしようと進んで来ました。

考えてから動くのではなく、『動きながら考え、また動く』を繰り返して来ました。



共同代表 寺田 真実

難病や障がいを持つこども達の選択肢は非常に少なく、きょうだいや家族は体験貧困の状況にあります。

選択肢を生み続けること、心が響き合う本物の劇場空間を届けることに拘って来ました。体験することは子ども達のお仕事です。体験は人の成長に欠かせません。私達は持続可能な活動を目指し、次世代の人材を育成しながら様々なパフォーマンスを生み出す研究所を2025年度に設立致します。ここからが第二章となります。

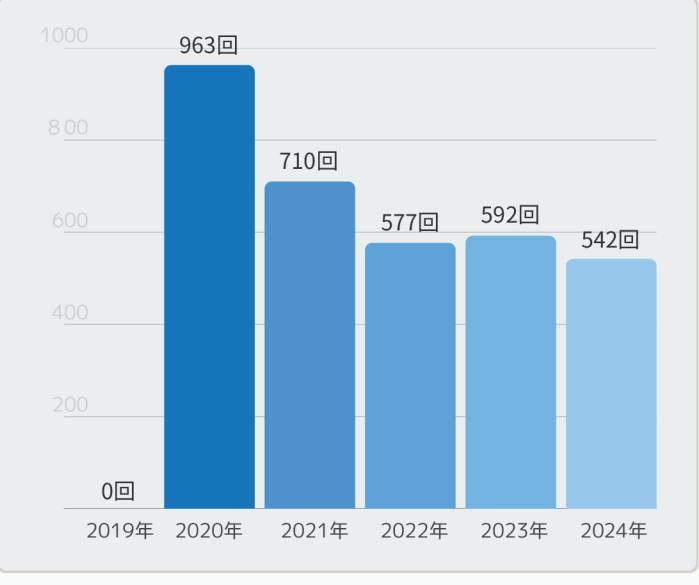
●11年間の公演実績

(2014年1月～2024年3月)



●年間オンライン配信回数

コロナ禍で生まれ、今も届け続けています



専任プロメンバー 岩本 潤子

「壊れそうな車を修理しながら走る」

そのままの心魂の11年。振り落とされないよう、必死に食らいついてきました。歌しかやってこなかった人生の中で、ここは私にとって“学びの現場”です。認知症の母との歩みと重なった日々、たくさん支えてもらいながら、私の歌が生かされ、輪の中にいられる幸せを知りました。最初から完成形ではなく、走りながら形を変えて進化する。そんな心魂が、今は多くの方に認めていただけるようになったこと、本当にうれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、走りながら育っていきたいです！

支援企業の貢献と未来への展望

私たちの活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。皆様のご協力により、2024年度も多くの成果を達成することができました。心より感謝申し上げます。



日本メナード化粧品株式会社



—— 出合いの衝撃 ——

2024年8月21日。
夏の陽射しがまだ強く残る日。
三洋堂書店さんのホールで、私は初めて心魂プロジェクトさんの公演に触れました。

それは、
既存の枠組みを超え、希望と痛みが交錯する——
いのちそのものの震えでした。

音楽が鳴り響いた瞬間、空気が震え、
役者たちの足音と息遣いが、まっすぐに胸へ迫ってくる。

決して子ども扱いをしない、真摯なまなざし。
経済合理性では決して現れない、奇跡のような景色。

「美しさにまごころこめて」という企業理念。
心魂プロジェクトさんの世界観と、静かに重なり合うものがありました。

2024年11月、パシフィコ横浜・国立大ホール。
寺田さんに、周年大会で『コンパス・オブ・ユア・ハート』を歌っていただきました。

ついに見つけたよ 宝物
宝石や黄金じゃなく
旅の中でめぐり逢った
素晴らしいぼくの友達

人生は冒険だ。
地図はないけれど——
宝物を探そう。
信じて。
Compass of your heart.

旅の途中で出会った友。
それこそが、かけがえのない宝物なのだ。

メナード関係者一同が、
この歌を通して、心と身体で、学んだ瞬間でした。



理解が追いつかないほどの、不思議な空間——
無駄を削ぎ落とし、妥協せずに突き詰められた、生命の舞台。

まっすぐに生きる営みが、
まるごと目の前に飛び込んできたような感覚でした。

そして私は、思ったのです。

もし人類が、精神的に進化し、成熟した未来へと辿り着くならば——
この景色、この仕組みは、そこに必ず存在していなければならない、と。

なぜなら、私たちは限りある命を生き、
一人では生きられない存在だから。

—— 「共に生きる」という時間。 ——

公演が終わる頃、私の胸には、
言葉にならない“何かを託された感覚”だけが、そっと残っていました。

—— 行動の起点 ——

会社に戻った私は、
衝動に近い気持ちで心魂プロジェクトさんの公式サイトを開きました。

感謝と興奮、
そして「何か一緒にできないだろうか」という思いを、
言葉に綴って送りました。

後日、共同代表・寺田さんから、
丁寧であたたかな返信が届きました。

オンライン面談を通じて、
寺田さんの歩みと覚悟に、私は深く打たれました。

劇団四季の舞台では決して届かなかった領域へ——
手を伸ばしておられるその姿。

それは、私自身の生き方に、
静かで、でもまっすぐな光をもたらしました。

営利も、非営利も超えて。
世界を、良くすると信じる生き方を、選びたいと。

—— 企業活動との重なり ——

ちょうどその頃、勤務先であるメナード化粧品では、
創立65周年記念大会の準備が進んでいました。

—— ワクワクつながる祭典 2025 ——

2025年3月8日、横浜・大さん橋ホール。
「ワクワクつながる祭典2025」に、私たちは参加しました。

「メナードこども未来プロジェクト」の一環として、
店長、ビューティアドバイザーの皆さんとともにブースを出展。

ハンドケア、メイクアップ、
開発中のこども向けネイルカラー。

小さな手に施された、はじめてのネイル。
その一つひとつが、未来への静かな光でした。

見守るご家族の笑顔。
そこに、祝福の気配が宿っていました。

美を通じて、心と心がつながること——
それは、私たちメナードの願いそのものです。

—— 未来へ ——

出展後、帰路につきながら、
ふと、2024年8月21日——
あの日初めて触れた心魂プロジェクトさんの公演が胸によみがえりました。

私の心に芽生えた、“何かを託された感覚”。
いま確かに、多くの人たちを巻き込みながら、静かに形を持ち始めています。

心が震えた人たちの人生が、
確かに素敵なものに変わりはじめています。

心魂プロジェクトさんが灯した世界観は、
私たちが大切にしている「まごころ」に、
新たな輪郭を与えてくれました。

—— 結びに ——

心魂プロジェクトさんが、私たちにくれた最大の贈り物。

それは、

「誰かと共に生きる喜び」

ビジネスでも、日常でも、
人はつい自分の枠に閉じこもってしまう。

でも、あの舞台が教えてくれた。

ほんの一步、隣へ踏み出せば、
かけがえのない価値が、生まれるのだと。

新しい人生の扉は、もう開かれています。

これからも——
旅の途中でめぐり逢った友として。
心魂プロジェクトさんと共に。

そして、静かに、確かに、
歩み続けたいと思います。



日本メナード化粧品株式会社
取締役 菊池 知保



さまざまな支援方法

心魂プロジェクトの活動に、個人、企業、団体の皆様から、熱いご支援・ご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

企業支援のかたち

「各企業の強み × 心魂」で、より豊かな社会貢献を一緒に創りませんか？



スポンサーになる

活動資金やイベントをご支援いただいた企業・団体の皆さまの存在が、心魂の活動を力強く支えてくださいました。これからの活動の継続・発展には、皆さまの力が欠かせません。



パートナーとして共創

企業の専門性と心魂の活動を掛け合わせ、新しい価値を一緒に創造しています。プロジェクトの共催や協業企画など、より深い連携を通じた社会貢献を目指しています。



社員参加型の支援

ボランティア参加や社内啓発活動を通じて、社員の皆さまが心魂の活動に関わってくださいています。“心を動かす体験”が企業文化としても広がり、社員のモチベーションや職場の雰囲気にも良い変化をもたらしています。

ご支援いただいている企業・団体の皆様



その他にも、海外IT企業や広告関連をはじめ、さまざまな立場の皆さまよりあたたかなご支援に支えられています。心魂プロジェクトでは、さまざまな形のご支援をいただいております。

●ご支援内容の一例

活動全般の助成、公演協賛、ボランティア参加、資金的なご支援、寄付型自動販売機の設置、イベント展示協力・協賛、会場提供など、多様なかたちで応援いただいております。

子ども達の“いのちの輝き”をともに紡いでいきませんか？

あなたにできる応援のかたち

● 寄付で応援

1回ごとの寄付や、継続的なマンスリー支援が可能です。金額や頻度はご自身で自由にお選びいただけます。



● Amazonで応援

年に3回（3月・7月・11月）、Amazon「ほしい物リスト」で活動に必要なアイテムをご案内しています。1点から気軽に応援いただけます。



● ブックオフで支援

不要なモノを送るだけで支援に。本やCDなどが寄付に変わります。



● 心魂ファミリーになる

年会費1,000円で、心魂プロジェクトを継続的に支えていただけます。サポート会員としてのつながりを大切にしています。



● SNSでのシェア

FacebookなどSNSで、心魂の活動を広めて応援いただけます。あなたの投稿が、新しい支援のきっかけになります！



● 自動販売機の設置

オリジナルの寄付型自動販売機を設置して応援。設置先も募集中です。



銀行振込でのご寄付

銀行振込によるご支援も受け付けています。口座情報は下記をご覧ください。

みずほ銀行 横浜駅前支店 普通 2821235 トクヒ) ココロダマプロジェクト
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通 1311645 トクヒ) ココロダマプロジェクト
三井住友銀行 横浜駅前支店 普通 9290433 トクヒ) ココロダマプロジェクト
ゆうちょ銀行 10920 35657371 トクヒ) ココロダマプロジェクト

よろしければ以下の情報をメールにてお知らせください。
ご寄付いただいた方のお名前を寄付者名簿に記載させていただきます。

①お振込み名義 ②ご住所 ③ご寄付の使用用途（ご希望がある場合）

【送信先メールアドレス】▶ cocorodama@gmail.com

Cocorodama Company

— メンバー紹介／活動を支える仲間たち —



プロジェクト推進メンバーの紹介



公演運営担当
加藤 伊吹
(いぶちゃん)

心魂のほぼすべての公演に出演しつつ、公演ごとの準備や調整なども幅広く担当。各地の公演がスムーズに進むよう、現場の中心で動いています。



事務担当
堤田 延子
(のぶりん)

主にイベントやオンライン事業の事務を中心に、運営事務のサポートをしています。間接的にでも、得意分野で皆さんの笑顔を作り出せていることが嬉しいです。



映像制作担当
蔵松 美沙
(みさちゃん)

病棟勤務の経験から様々な世界を届けたいと映像を制作しています。子どもたちの笑顔を胸に、今後もどんな環境でも感動の劇場空間を体感できる映像を創ります！



チラシ・グッズ担当
武田 桃子
(ももちゃん)

イベントやお知らせがしっかり伝わるようなチラシ作りを心がけています。今後わかりやすく魅力が伝わるデザインを目指して制作していきたいと思います。



心魂TVプロデューサー
重宗 裕美
(アリー)

「どんな状況になっても諦めなくていいんだ」「ひとりじゃない」そう感じていただくことを大切に企画立案しています。どこからでも繋がるワクワクを。毎日覗きたくなる場所に。



新規開拓担当
田倉 千菜美
(ちーすけ)

持続可能な活動を目指し、企業勤務の経験を生かして運営をサポートしながら、支援企業や協力者との関係づくりを広げていきたいです。楽しみながら、自分らしく！

広報担当 心魂広報省





あなたが笑顔でいられるように。

特定非営利活動法人 心魂プロジェクト

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1丁目11-1 水信ビル7階

E-mail : info@cocorodama.com

ホームページ : <https://www.cocorodama.com>

Facebook : <https://www.facebook.com/cocorodama/>

